

## ジュニア・リーダー奮闘中! Vol.2 2

前号に引き続き、夏休みのジュニア・リーダーの活躍を紹介します。  
8月20日、高城地区子ども会の夏祭りに参加し、〇×クイズの進行やジャンケン列車を担当しました。楽しい時間を一緒に過ごして、会場を元気に盛り上げました。



▲高城地区子ども会夏祭りでの〇×クイズを盛りあげました

## 「算数チャレンジ大会（算チャレ）2018」本選出場!

9月8日、宮城県庁講堂にて「算数チャレンジ大会（算チャレ）2018」本選が開催されました。松島第二小学校6年生小野浩一郎さん、笹城戸寛太さん、土井七桜さんが「独眼流むすび丸」というチーム名で298チームが参加した予選を見事突破し、出場しました。「分数×小数の計算」や「割合」、「図形」の問題などについて、チームで分担、相談しながら工夫して解答しました。会話の中から必要な情報を抜き出し、計算するといった問題にも挑戦していました。



▲本選出場認定書を手にした左から小野さん、笹城戸さん、土井さん

## 松島町教育講演会を開催しました

8月21日、アトレ・ホール（文化観光交流館）にて、町内の幼稚園、小学校および中学校の教職員や保護者・一般の方を対象に、豊かな心を育む研究指定校事業の一環として、松島町教育講演会を開催し、帝京大学大学院教職研究科教授の赤堀博行氏に「道徳科の特質を活かした授業改善と評価」について講演していただきました。赤堀氏は道徳の教科化について最先端で活躍されている方で、具体的な例を示して道徳教育についてお話をいただきました。

## にかほ市中学生リーダー研修会

8月7日と8日、青少年健全育成事業の一環で、松島中学校の生徒会役員（3年：角田愛美さん、相沢菜里さん、2年：相沢一東さん、菊地大地さん、文屋里奈子さん）が夫婦町の秋田県にかほ市を訪れ、合同のリーダー研修に臨みました。

初日は、斎藤宇一郎記念館や蛸満寺などを視察し、にかほ市の斎藤教育長からの講話でリーダーとしての心構えを学ぶなど遅くまで研修に励みました。

2日目は、地元高校生のアドバイスも受けながら、「地域の課題解決」について大人顔負けの議論が交わされました。同世代との交流は良い刺激となっていたようです。



## 親子工作教室開催

8月25日、中央公民館主催の「親子工作教室」が手樽地域交流センターで開催され、参加した親子は、力を合わせて本立てにもなるコーナーラックの製作に挑みました。

講師の松島職工組合の皆さんにご協力いただき、木の切り方やくぎの打ち方などの指導を受け、素晴らしい作品が完成しました。



# 文化財で見る松島の歴史

## ～幡谷五人衆、伊勢へ参る⑥～

天保15年（1844）2月26日、77日間におよんだ旅を終え、五人衆は幡谷村へ帰着しました。今回旅に出た5人について改めて見てみると源三郎35歳、兵太郎25歳、仲吉28歳、養作31歳、清治23歳。いずれも20〜30代と若い世代であることがわかります。全国的にも、同様の傾向が見受けられ、伊勢参宮には「日常的な生活を離れて未知の世界の見聞を広める」といった意図もあったとされています。

今回の伊勢参宮で一行は、記載されているだけでも、総距離114里31町3間（約2568km）を歩いていきます。一日平均約33km以上を歩いていた計算になります。多い日では70km以上歩くこともありましたが、この歩行距離は現代の私たちからすれば驚異的な距離のように思えますが、江戸時代の参宮旅行では決して多くはなく、ごく平均的な数字だったことでしょう。それでもなお、人々は伊勢を目指しました。これらすべての行程を再現することは至難の業ですが、旅日記をひもとくと江戸時代の庶民が見た風景・感じたことなどを追体験することができます。ぜひ一度、手に取ってみてはいかがでしょうか。

（学芸員・本木）

（参考：高橋陽一『近世旅行史の研究 信仰・観光の旅と旅先地域・温泉』、小野寺淳「道中日記にみる伊勢参宮ルートの変遷…関東地方からの場合」、『筑波大学人文地理学研究14』、谷釜尋徳「近世における東北地方の庶民による伊勢参宮の旅の歩行距離―旅日記（1691〜1866）の分析を通して―」（東洋大学『スポーツ健康科学紀要12』）

|      |           |                                    |
|------|-----------|------------------------------------|
| 日 程  | 出立日       | 天保14年（1843）12月1日                   |
|      | 伊勢神宮到着日   | 天保15年（1844）1月9日                    |
|      | 帰着日       | 天保15年2月26日                         |
| 年 齢  | 平均年齢      | 28.4歳<br>※最年少：23歳（清治）、最年長：35歳（源三郎） |
| 主な出費 | 宿泊費       | 1人当たり9,693文                        |
|      | 交通費       | 1人当たり1,747文                        |
|      | 案内料、冥加銭など | 5人合計1,822文                         |
|      | その他       | 5人合計1,706文                         |
| 移動距離 | 総距離       | 114里31町3間（約2,568km）                |
|      | 1日の平均距離数  | 約33.35km                           |
|      | 1日の最短距離数  | 2里（約7.85km／12月18日、2月20日）           |
|      | 1日の最長距離数  | 18里（約70.69km／1月12日）                |

『伊勢参宮之道中記』から読み取れる各種データ

※出費・移動距離は記載があるものだけを計算。実際にはより多くの出費・より長い移動距離だったことが推測されます。